

市長発言内容

1. 瀬戸内国際芸術祭 2013 が開幕しましたが、これまでの来場者数などの状況、ならびに感想をお聞かせください。

24日(日)には2,000人を超える来場者が訪れ、また、オープニングセレモニーには800人、平日も600~700人が来場し、当初の予想を上回る来場者数で嬉しく思っている。

来場者数の詳細については、香川県実行委員会から近々発表があると聞いている。

明日以降も、土日にはさまざまなイベントが予定されている。

現在、駐車場等の心配は出ていないが、サッカーやターゲットバードゴルフ、鹽まつりなどのイベントと重なってくるので、交通の混雑に対する対応を考えていかなければならない。

運営については、市だけでなく市内32の各種団体の協力をいただきながら運営しており大きな混乱もない。

ただ、食事について、「島スープ」や「沙弥定食」が即完売となってしまう、食事が出来ない方がでている。

開催が終わった後、他会場では夏・秋と開催されているが、沙弥島はどうするのかという課題がある。島民の生活を阻害しないようにしなければならず、交通規制や海水浴シーズン時の対応、作品の管理など、島民の方々と相談しなければならない。

Q. 好評な要因は

地のりや、運営に協力をいただいている多くの各種団体からの普及、オープニングセレモニーの高評価が考えられる。

Q. 経済波及効果は

かなり大きいと思われる。来場者数等から分析が必要である。

(市長発表)

1. 坂出市障がい者就労体験事業「ヨロコビ・ワゴンセール」について

障がいを持った人たちが接客体験などをできる就労体験の場を提供することにより、一般就労の促進を図ることを目的として、4月1日より毎週月・水・金の午前10時30分から午後1時30分まで市本庁舎1階玄関ホール付近でワゴンセールを開始する。庁舎での実施は県内初である。

参加施設については、NPO香川県社会就労センター協議会が調整し、8施設が参加予定である。

Q. 始めたきっかけは

職員提案制度にて提案があり、検討の結果、実施に至った。